◎アミノレバン点滴静注　［注］

【重要度】★　　【分類】肝性脳症改善アミノ酸注射液
【単位】◎200mL・○500mL/袋
【常用量】1回500～1000mL
【用法】点滴静注■点滴速度500mL/3～5hr
【透析患者への投与方法】水分負荷，窒素バランスに注意して投与可［HD時に投与してよい］(5)
【その他の報告】重篤な腎障害のある患者では水分の過剰投与に陥りやすく，高窒素血症を誘発するおそれがあるため禁忌（1）
【PD】PD液に混和して腹腔内投与することで肝性脳症の治療に効果が認められた症例（岡 真知子,他: 透析会誌 40: 811-5, 2007）
【保存期CKD患者への投与方法】高窒素血症や水分負荷に注意して投与することができる（5）
【その他の報告】Ccr 10mL/min以上：減量の必要なし，Ccr＜10mL/min：重篤な腎障害のある患者では水分の過剰投与に陥りやすく，高窒素血症を誘発するおそれがあるため禁忌（1）
【特徴】肝不全における血漿中及び脳内遊離アミノ酸濃度のバランスを是正するための分枝鎖アミノ酸を多く含有する栄養剤．肝性脳症時に適用される．
【主な副作用･毒性】発疹，悪心・嘔吐，胸部不快感，動悸，頭痛，発熱など．急速で多量の注入によりアシドーシス，心不全，電解質のアンバランスが出現することがある．
【備考】バック内追加可能用量：200mL製剤は150mL，500mL製剤は200mL
【更新日】20240718

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。